

1 研究主題

よりよい自分になるために、自ら考え実践できる児童の育成  
～できる喜びを実感できる算数科の授業の工夫～

2 研究の具体

できる喜びを実感

授業改善

【見通しの持たせ方】

- ・算数宝箱
- ・見通しポイント



自力解決する前に、どの既習事項が使えるか、今までの方法で解決できそうかなど、見通しを持つ時間を設定する。

【必要感のある交流】

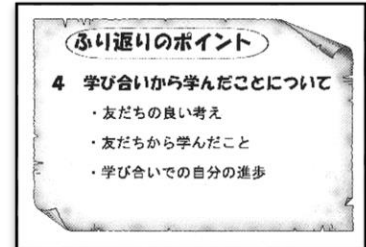
- 不安・疑問・不思議



交流によって自分の分からなかったことが分かったり、友達の考えと比較して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

【成長を自覚する振り返り】

- ・自己の変容
- ・他者との比較



視点を決めて振り返りを行うことで、自己の伸びや

教科書で学ぶ

教科書の意図を探り、ねらいと実態に応じた教科書の表現を支援とする取組

1 教科書の教材を利用する

問題の数値・イラスト・キャラクターの発言等

2 教科書の流れを利用する

児童の活動と問題の関わり

3 「流し方」を工夫する

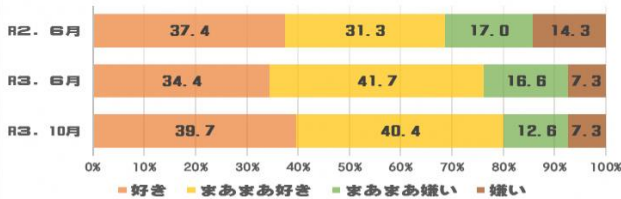
基礎基本の定着

算数に興味をもつきっかけになるように、1階放送室横の掲示板を算数コーナーとして活用。

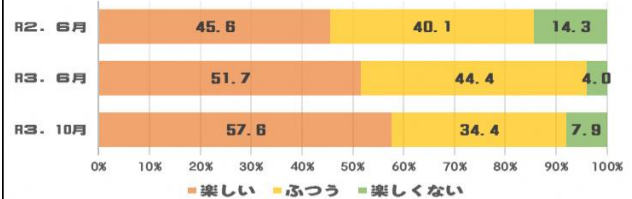


3 研究の検証及び改善の手立て

算数は好きですか（全校）



算数の授業は楽しいですか（全校）



1年前の6月に比べて算数が嫌いな児童が減少したことが分かる。また、半数以上の児童が算数の授業が楽しいと感じている。さらに楽しくないと答えた児童は全体の8%になっている。これは、教職員が「できる喜びを実感できる授業」を目指して授業改善し、児童が「できる」「分かる」と実感できた成果だと言える。教師間でも、ここはどんなふうに教えたらいいのだろうかと話合う機会も多くなり、教師全員が算数だけでなく他教科も、児童ができる喜びを感じられる授業改善を目指すようになってきた。